


議会だより



江田島市一般会計
予算書及び予算

特集

令和4年度予算審査
私たちのまちがどう変わる？

議会アドベンチャー
未来を担う子どもたち

令和4年度 当初予算 可決

全庁的なDX（デジタル・トランスフォーメーション）を推進するため、デジタルビジョンを策定することとなっている。ビジョンの策定においては、高齢者がデジタル社会に取り残されないように特段の配慮をされたい。

予算審査でこんな意見が出ました！（一部抜粋）

その予算で何が出来る？ 私たちのまちがどう変わる？

令和3年度の「えたじまものがたり博覧会」は新型コロナウイルス感染症の影響で集客できていない。観光振興の各事業に対する検証と評価を行い、最小の経費で最大の効果を出せる観光振興事業の取り組みをしていただきたい。

ICT推進員の設置については、年度途中であってもICT推進員の効果を検証し、必要とあれば補正予算を組むなどの対応をされ、各学校におけるICT環境の格差を少なくするため体制の充実強化をはかられたい。

サテライトオフィス誘致促進事業補助金について、仕事の創出等は重要な施策の一つではあるが、コロナ禍の厳しい状況に置かれている地元事業者や、市民の方々の声を大切に市民生活を守るための支援策も検討されたい。

一般会計

一般会計159億5000万円
対前年度比19億8000万円となり、
3年ぶりの増額!!

特別会計

特別会計76億8980万円
対前年度比6900万円増額!!

企業会計

企業会計32億6690万円
対前年度比1650万円増額!!

● ● ● ● ● 重点的に取り組みを推進する4つの項目 ● ● ● ● ●

しごとの創出

地域に生き生きと働くことができる仕事があり、活発な経済活動が営まれることにより、にぎわいや活力を感じられるまちをつくる。

- ・農林水産業の振興
- ・地場産業の経営安定化や活性化
- ・新たなしごとの場の創出

人のつながり・縁づくり

交流人口・関係人口との関係性の拡大・深化を目指し、縁を有する人を増やす。

- ・江田島市への来訪の促進
- ・江田島市との縁の深化
- ・多様な人材の活動促進

子育てしやすい環境づくり

「江田島市で子育てがしたい」と感じることができるような魅力的で、かつ安心して子どもを産むことができるまちをつくる。

- ・出産や子育てしやすい環境の構築、子育てサポート
- ・島の文化や環境、地域力を生かした保育・教育の展開

健康寿命の延伸

市民の皆さまが、元気で健康に過ごすことができるまちをつくる。

- ・健康な暮らしを営むための保健事業と介護予防
- ・高齢者が地域で活躍できる場・機会の確保

執行部へ質問！その答えは！？

私たちの税金 どう使われる？



総務文教分科会

宮下委員 古居委員 浜西委員 上松副委員長 岡野委員長 山本委員 酒永委員 平本委員

総務部、企画部、危機管理監、会計課、教育委員会、議会事務局、監査委員、選挙管理委員会、公平委員会、固定資産評価審査委員会および消防の所管に関する事務ならびに他の委員会に属さない予算



産業厚生分科会

寛本委員 美濃委員 沖元委員 平川副委員長 沖委員長 吉野委員 長坂委員 上本委員

市民生活部、福祉保健部、福祉事務所、産業部、土木建築部、企業局および農業委員会の所管に関する予算

ふるさと納税について

Q ふるさと納税事業については、さまざまな経費がかかることが想定されるが、業務委託内容や実際にかかる経費、そして実際に江田島市の収入として残る納税収入額はどのようになっているか。

A 業務委託内容としては、ふるさと納税の受け付けや返礼品の調達や手配、各事業者への支払いとなっております。令和4年度ふるさと納税として3280万円を予算として計上しており、委託にかかる経費やホームページ掲載、決済手数料合わせて約1600万円かかることから、収入としては約1600万円と見込んでいます。

水道企業団への参画について

Q 本市の水道事業経営は、人口減少による水道料金収入の減少や、老朽化した施設の更新費の増加のため、今後より一層厳しくなると予想される。そのため、本市は広島県の水道広域連携「広島県水道企業団」への参画を決め、現在準備を進めているが、市民の支払う水道料金への影響は。

A 将来水道料金の値上げは否めませんが、本市単独での運営より企業団での運営のほうが、スケールメリットも発揮され、料金の上昇率が緩やかになるというメリットがあると考えます。

Q 将来的に水道管等の設備の更新など問題はなにか。

A 広域連携への参画で国の補助が優遇されることや、地域間の技術的なサポートが可能となるため、設備更新はより早くなると考えます。

災害復旧事業について

Q 災害復旧事業は、令和3年度完了予定であったが、令和4年度に繰り越されている。平成30年7月豪雨災害の復旧事業が完了していない箇所においては、今後も起こりうる異常気象等による二次災害も懸念される。市民の安心・安全のため早期復旧が望まれるが、復旧の遅れの原因は。

A 未曾有の災害で復旧に時間がかかっています。出水期までに手当てができるところはしっかり手当てをし、できないところは必要に応じて土のうやブルーシートの設置など、しっかりと対応します。市民の安心・安全のため、一日でも早く復旧が完了するように努めていきます。

旧ユウホウ紡績工場跡地について

Q 現在企業側からのオフアールについてや、区画を切ったの切り売りは考えているのか。また、跡地に残っているダイオキシン汚染の範囲や土地整理費用はいくらほどかかるのか。

A これまでに企業側からのオフアールは1、2社ありましたが、現在はストップしています。また切り売りについては、基本的には考えていません。まずは広く民間企業に公募できるよう、土地の状況を整理するために土地整理事業として予算化しました。また、ダイオキシン汚染の範囲としては敷地内の107㎡となっております。土地整理費用としては約2000万円が想定されます。

報告・・・2件
議案・・・1件

同意・・・2件
議案・・・29件
報告・・・1件
発議・・・1件

この中から3つ
を詳しく解説!



令和4年2月 臨時会

会期：2/4

令和4年2月 定例会

会期：2/24～3/16

全ての議案名は、
市ホームページで
ご覧いただけます。

＼臨時会／



＼定例会／



Point!

令和4年度から未就学児の国民健康
保険税が減額されます。

議案第20号 江田島市国民健康保険条例の
一部を改正する条例

江田島市では、子育て世帯の経済的負担軽減のため、未就学児の国民健康保険税の均等割について2分の1を減額します。

国民健康保険税は、前年の所得に係る「所得割」、固定資産税に係る「資産割」、世帯の加入者の人数ごとに係る「均等割」と世帯に対して係る「平等割」の合計です。

今回の減額措置は、未就学児の「均等割」について2分の1を減額するものです。

※手続きの必要はありません。

【施行期日】

令和4年4月1日

Point!

江田島市議会では、ロシアのウクライナ
侵攻に対して攻撃停止と無条件
撤退を決議しました。

発議第1号 ロシアのウクライナ侵攻に対し、
即時に攻撃停止と無条件撤退を求める決議

決議文の一部を掲載します。

貴国によるウクライナへの軍事侵攻は、国連憲章や武力の行使を禁ずる国際法の明白な違反で、国際秩序の根幹を揺るがし、世界の平和と安全を損なう暴挙であり決して容認できるものではない。
：以上決議する。

令和4年3月15日

江田島市議会



決議の様子

Point!

沖美町にあるかんがい施設(給水栓)
設置の畑が貸しやすく、借りやすくなり
ました。

議案第21号 江田島市沖美町畑地かんがい施設
設置及び管理条例の一部を改正する条例

沖美町にあるかんがい施設(給水栓)の使用については、条例の定めで休止中であっても施設の利用者に対して使用料を徴収していました。

今回の改正では、農地の流動化を進めるために、休止している施設にあっては、使用料を徴収しないうとするものです。

【施行期日】

令和4年4月1日



給水栓



長坂 実子

公園、図書館などの社会教育施設、ホールなど市民みんなに利用される施設の整備について問う



答 適切な整備と運営に努める

問 指摘の通り、全ての基幹公園を整備、維持管理するのは多くの費用を要するので整備方針の見直しが必要と考えます。公園全体の検討結果を踏まえ、二一

答 指摘の通り、全ての基幹公園を整備、維持管理するのは多くの費用を要するので整備方針の見直しが必要と考えます。公園全体の検討結果を踏まえ、二一

問 全ての基幹公園をリニューアルする方針は可能か。対象公園を絞るなど見直しは。また、子ども遊び場の不足は課題である。合併特例債の期限も迫っており、子育てしやすい環境づくりのため、大型遊具設置など子育て世代向けに整備を優先しては。

答 意見を参考に検討を進めます。

問 人口減少が進む本市からこそ、市民が地域を越えて集まる公園や社会教育文化施設の整備が必要と考える。令和4年度、平成30年豪雨災害復旧完了の見通しだが、基幹公園整備の再開の方針は。

答 令和4年度、公園全体の見直しの中で検討します。

問 さとうみ科学館のリニューアルは。

答 リニューアルに向けて館の情報発信で認知度を高めます。

問 旧町の施設のまま全市的に利用を広げるのは大変である。さとうみ科学館だけでなく、他の施設も同様である。老朽化している図書館や歴史資料館などの社会教育施設、ホールを市民みんなが利用しやすいように集約をしては。また、公共交通の拠点である都市拠点、市の中心で整備を考えては。

答 令和3年度策定の長寿命化計画により、建物の修繕などとして維持活用します。



筧本 語

GSHIPへの取り組みについて問う



答 海洋への新たなごみの流出がゼロになる仕組みの構築や、多様な主体と協働した海岸清掃などに取り組む

問 漁業活動に関連するごみへの本市の取り組み

答 GSHIPでは、瀬戸内海に新たに流出する海洋プラスチックごみの量を、2050年までにゼロにすることを今後の明確な目標としています。

問 今後の明確な目標は。

答 GSHIPでは、瀬戸内海に新たに流出する海洋プラスチックごみの量を、2050年までにゼロにすることを今後の明確な目標としています。

問 海洋プラスチックごみによる環境汚染が世界的な問題となっているなか、広島県が海洋プラスチックごみゼロ宣言を行うとともに「GSHIP（GREEN SEA 瀬戸内 ひろしま・プラットフォー）」を設立し、江田島市も参画しているが、本市の行っている具体的な取り組みは。



答 本市の海洋漂着ごみにも多くの養殖資材が含まれていることは事実で、現在の養殖資材の流出については、各漁業組合の皆さんも重く受け止めています。しかしながら、新しい養殖方法はどれも耐久性と価格の問題があります。今後実用的なものになったときには、本市も何らかの支援をしていかなければならないと考えています。

問 この先、カキ生産者が、資材の流出しにくい養殖方法へとシフトする際、何らかの支援等は考えているか。

答 海洋漂着ごみの実態を踏まえ、江田島市漁業振興協議会の場において、カキ養殖資材の流出防止対策の取り組みをお願いしています。また、江田島湾内の海ごみの回収・清掃業務を実施しています。

問 市道の維持管理補修予算は、令和3年度に2453万6000円に対し、令和4年度当初予算は、3390万2000円計上しています。令和3年度と令和4年度を比較すると約900万円増額となっています。

対応は。

答 市道の維持管理補修予算は、令和3年度に2453万6000円に対し、令和4年度当初予算は、3390万2000円計上しています。令和3年度と令和4年度を比較すると約900万円増額となっています。

問 子育て世代の方々にとって、公園は地域の

答 子育て世代が望む環境整備が重要なカギになる。一例だが、子育て世代が増えつつある地域や住宅建設が進む地域に公園が必要ではないか。子育て世代にとって情報交換の場として重要な役割を担っているのでは。

問 江田島市を持続可能なまちとしていくためには、子育て世代が望む環境整備が重要なカギになる。一例だが、子育て世代が増えつつある地域や住宅建設が進む地域に公園が必要ではないか。子育て世代にとって情報交換の場として重要な役割を担っているのでは。

答 若い世代へ届けられるよう、ホームページやSNSなどの情報発信ツールを駆使して、移住・定住に誘いたいと考えています。

問 重点項目の「一人のつながり・縁づくり」は、具体的にどのようにして人口減少抑制につなげるのか。

答 江田島の魅力を効果的に若い世代へ届けられるよう、ホームページやSNSなどの情報発信ツールを駆使して、移住・定住に誘いたいと考えています。

問 人口減少の要因分析結果で主な要因は。

答 出生数と死亡数の差で毎年300人規模の人口減少となつています。人口減少の最大の要因は、高齢化率が高い人口構造にあり改善をはかるには、若い世代の確保が必要と考えます。



岡野 数正

第2期総合戦略における人口減少抑制策は



答 人口減少を改善するため、重点取り組み項目として68の具体的な施策を掲げ、実施する

問 コミュニティの場としての役割を担うものと考えます。令和4年度から行う本市の「公園等管理活用計画」の見直しの中で検討していきます。

答 江田島市で散見される生活道路の現状は、老朽化あるいは経年劣化によるアスファルトの剥がれやコンクリートのひび割れが目立ってきている。適切な維持管理が必要では。

問 江田島市で散見される生活道路の現状は、老朽化あるいは経年劣化によるアスファルトの剥がれやコンクリートのひび割れが目立ってきている。適切な維持管理が必要では。

答 職員によるパトロールのほか、道路利用者からの通報により異状箇所を確認し、適切に補修等を行っています。

問 市道・里道に係る維持管理補修予算は。

答 市道の維持管理補修予算は、令和3年度に2453万6000円に対し、令和4年度当初予算は、3390万2000円計上しています。令和3年度と令和4年度を比較すると約900万円増額となっています。

問 インフラ整備計画の進捗状況は。

答 インフラ整備計画の進捗状況は。



市の考えを問う

一般質問

質問者 8人

- 1 岡野 数正 第2期総合戦略における人口減少抑制策は
- 2 長坂 実子 公園、図書館などの社会教育施設、ホールなど市民みんなに利用される施設の整備について問う
- 3 筧本 語 GSHIPへの取り組みについて問う
- 4 宮下 成美 「子育てしやすい環境づくり」について問う
- 5 平川 博之 高齢者支援の充実について問う
- 6 平本 美幸 学校給食共同調理場統合について問う
- 7 上本 雄一郎 子育てしやすい環境づくりとしての公園・校庭の整備推進について問う
- 8 美濃 英俊 市民アンケート・パブリックコメントの対応について問う

QRコードを読み取ると録画映像が視聴できます。



平本 美幸

学校給食共同調理場統合について問う

答 統合後も引き続き、食の安全・安心でおいしい給食の提供に努め、教育面でより大きな役割を果たす



問 この統合により、会計年度任用職員の人員費を削減することにつながるが、これは子育て世代の働く場所を奪うことであり、子育てしやすい環境づくりに反するのではないか。

答 本人の希望を踏まえ、これから勤務条件等を調整します。

問 児童生徒は、今後も減少が続く見込みであり、設備の老朽化した江田島学校給食共同調理場を西能美学校給食共同調理場に統合し、1カ所での効率的な運営を行う計画です。

問 推進計画について。

答 児童生徒は、今後も減少が続く見込みであり、設備の老朽化した江田島学校給食共同調理場を西能美学校給食共同調理場に統合し、1カ所での効率的な運営を行う計画です。

問 食育について。

答 学校における食育の目標は、教育活動全体を通して、児童生徒に食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身につけさせることと、家庭や地域と連携した食育の充実をはかることです。食育を通して知識技能の習得とともに生産者等に感謝する心を育み、人間関係を形成することを大切に、安全・安心な給食を提供していきます。

問 西能美学校給食共同調理場で1回だけ双方の調理場で作られる量の給食を作り配送し、その後の片付け等の作業はしていないが、全ての工程を実施せずに安全・安心な給食の提供ができるのか。

答 令和4年度中にタイムングをみてテストします。

問 地元江田島市産の野菜の取り扱いには、今後どうする予定か。

答 献立を工夫するなど地元食材を可能な限り使用します。

問 統合計画が出た段階で保護者や学校関係者に説明がないのはなぜか。

答 不特定多数の方が利用する施設ではないからです。

問 学校給食全般に関わる学校と家庭の連携した食育の方向性について。

答 子どもたちが健全な食生活を送れるよう、食育の一層の充実に努めます。

「子育てしやすい環境づくり」について問う

答 成果・課題を整理しながら、より良いものにするべく取り組む



問 令和3年度子育て施策の成果は。

答 令和3年7月には、子育て世代包括支援センターに大型遊具を整備し、令和3年度から全ての保育施設を認定こども園化しました。また、ファミリーサポートセンターを開設し、地域の中で子育てを助け合う有償ボランティア事業を進めています。乳幼児等医療費助成事業では入院分の対象者を中学3年生まで拡大、産婦健康診査事業では産後の無償検査回数を拡大、不妊治療費助成事業では特定不妊治療だけでなく一般不妊治療への助成対象の拡大などにも取り組んできました。

問 施策を実施していく上での見えてきた課題は。

答 病児・病後児保育事業では、毎年の事前登録や事前診察が必要であることから、利用しにくいとの声があります。また、ファミリーサポートセンターについては、活動実績は37件にとどまっています。子育て世代包括支援センターでは、施設から遠い地区の方の来館が比較的少ない状況

問 令和4年度へ向けてどのようなようにつなげていくか。

答 課題を整理しながら、より良いものにするべく取り組んでいきます。家庭総合支援拠点の機能を整備することとしており、現在の子育て世代包括支援センターの充実をはかるもので、児童の状況把握に努め、課題を抱える家庭への支援を強化し、児童虐待等の未然防止に努めるものなどです。江田島市の未来を担う子どもたちを大切に、子育てにやさしいまちを創るという理念は「変えてはならないもの」です。その心構えを持って事業を推進していきます。

問 児童虐待については、対応が遅れることのないように横断的に対応され、情勢の変化の早い現代においてこれまで以上に市民の方、子どもたちの声を傾けていく必要がある。



上本 雄一郎

子育てしやすい環境づくりとしての公園・校庭の整備推進について問う

答 限られた財源の中で将来を見据えた公園整備を進める



問 市長が掲げられる「子育てしやすい環境づくり」を進めるには、市長自身が言われるように「江田島市で子育てしたい」と感じることができると、安心して魅力的な子育て環境を構築することが待望される。「子どもが自由にのびのび遊びたくなる場所（公園・広場）の確保について」どのように考えるか。

答 小学校の遊具は、児童の発育・発達に欠かせないもので、体力・運動能力の向上のためにも、計画的に配置したいと考えています。平成24年度以降では、大

問 市長が掲げられる「子育てしやすい環境づくり」を進めるには、市長自身が言われるように「江田島市で子育てしたい」と感じることができると、安心して魅力的な子育て環境を構築することが待望される。「子どもが自由にのびのび遊びたくなる場所（公園・広場）の確保について」どのように考えるか。

答 子育て世代のニーズに寄り添った公園整備が必要であることは認識しています。一方で、利用の少ない公園や類似施設との統合、効率的な管理のあり方などを検討する必要もあります。限られた財源の中で、将来を見据えた公園整備を進めていきます。



小学校の遊具が等しく充実するよう取り組みを!!



平川 博之

高齢者支援の充実について問う

答 今後も認知症の方が住み慣れた地域で暮らし続けることができる地域づくりと認知症施策の充実をはかる



問 認知症施策の取り組みについて伺う。

答 認知症の方が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるためには、認知症への理解に対する普及啓発、早期発見・早期対応に向けた取り組みが重要です。また、認知症に対する偏見は未だ根強く残っており、正しい知識と理解がされず、適切な医療受診や介護サービスにつながっていないケースもあります。

問 本市では、普及啓発として「認知症サポーター養成」や「認知症カフェ」の推進を行っています。「認知症サポーター養成」とは、病気の症状や接し方など、本人や家族を支えるものとして、現在、1165人のサポーターがいます。「認知症カフェ」とは、本人や家族、地域の方や専門職の方等、誰もが集まってくる場として、情報交換ができる場です。現在、月1回、市内2カ所で開催しています。



次に、早期発見・早期対応として、窓口や電話による相談体制、「認知症初期集中支援事業」を実施しています。「認知症初期集中支援事業」とは、認知症が疑われる方、認知症の方およびその家族を訪問し、認知症についての困りごと心配なことを確認し、その上で、適切な医療や介護サービスを利用につなげる事業です。相談体制では、市域包括支援センターに推進員を配置し、対応しています。さらに、認知症の方の衣服などにシールをつけることで行方不明の場合の早期発見につながる「高齢者等見守りシール事業」を推進しています。

市では、新たな取り組みとして、認知症カフェ拡充の運営支援をするため、活動助成金事業を予定しています。今後も認知症施策の充実をはかっていきます。

議会アドベンチャー

— 未来を担う子どもたち —

1/21(金)
24月
31(月)
開催



市内の小学6年生（開催当時）が、社会科授業の一環として市議会の仕組みや役割について学びました。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、初のオンライン開催となりました。次のページに議会アドベンチャーを終えた生徒の感想を掲載しています。



美濃 英俊

市民アンケート・パブリックコメントの対応について問う



答 アンケートの結果と施策の関係を説明していく

問 市民の皆さんからの意見を伺う狙いはどこにあるのか。

答 行政の仕事は、市民の皆さまの暮らしを良くするために行うものです。江田島市に住まわれる方々が、何を望まれ、何に困っているのかを確認するための手法と考えています。

問 具体例を挙げて伺う。第2次江田島市環境基本計画ではアンケート結果が反映されず「施策を構築していく際の参考として活用」とだけ離れたものになっているが。

答 その計画は、総合計画や国、広島県の計画との整合もはかっています。各種団体へのヒアリング調査、学識経験者等の協議を経て、計画案を作成しています。

問 執行部の意図は理解し書いた。ただ、アンケートに対する回答が不十分で失礼と感じる。アンケート結果と異なる場合、執行部の考えはいる施策の説明が必要ではないか。

答 アンケートは分かりやすい市民の声である。しっかりと受け止め、対応することで、市民との信頼関係が築かれるのではないかと。市民の声に返答や説明なく政策を進めることは行政不信、議会不信につながる。今後、対応をお願いする。

おわりに アンケートは分かりやすい市民の声である。しっかりと受け止め、対応することで、市民との信頼関係が築かれるのではないかと。市民の声に返答や説明なく政策を進めることは行政不信、議会不信につながる。今後、対応をお願いする。

答 アンケート結果を取りまとめ、どう分析し、施策に活かしているのかが分かるよう、書き方の工夫ができるかと考えます。また、アンケートと異なる整理をするのであれば、その理由を計画等にしつかりと書き込むことも必要であると考えます。

答 アンケート結果を取りまとめ、どう分析し、施策に活かしているのかが分かるよう、書き方の工夫ができるかと考えます。また、アンケートと異なる整理をするのであれば、その理由を計画等にしつかりと書き込むことも必要であると考えます。

答 パブリックコメントに対しては「パブリックコメント提出意見と市の考え」といった形でホームページから閲覧できるようにしている。アンケート結果に対しても同様に対応してはどうか。

令和4年2月定例会で可決された議案

教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて 他1件
江田島市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案について
江田島市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例案について
江田島市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例案について
江田島市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例案について
江田島市会計年度任用職員の給与、旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案について
江田島市個人情報保護条例の一部を改正する条例案について
江田島市国民健康保険条例の一部を改正する条例案について
江田島市沖美町畑地かんがい施設設置及び管理条例の一部を改正する条例案について
令和3年度江田島市一般会計補正予算（第10号）
令和3年度江田島市国民健康保険特別会計補正予算（第3号） 他特別会計補正予算5件
令和3年度江田島市水道事業会計補正予算（第3号）
令和3年度江田島市下水道事業会計補正予算（第3号）
令和4年度江田島市一般会計予算
令和4年度江田島市国民健康保険特別会計予算 他特別会計予算8件
令和4年度江田島市水道事業会計予算
令和4年度江田島市下水道事業会計予算
ロシアのウクライナ侵攻に対し、即時に攻撃停止と無条件撤退を求める決議案について

声に出すこと

私は、市議会アドベンチャーを体験して、小さな希望をもらった。市議会アドベンチャーでは、各学校の代表が江田島市をより良くするための提案をした。それに対し、議会の方々が丁寧に答えてくださった。私は、家からリモートでの参加だったが、張りつめた空気を感じた。議場に行くことができたのなら、もっと緊張していたかもしれない。



鹿川小学校
かつま 小愛さん

今まで「政治」というものに、自分は関係ないと思っていた。直接意見するわけでもなければ、選挙の票を入れることもできないからだ。しかし、声をあげれば、本気で変えようと思えば私たちでも江田島は変えられるのだと思った。

今、私には目標がある。来年度入学する中学校に、新しい部活動をつくりたいのだ。周りの友達から「部活動をつくることはできない。」というわさを聞き、この挑戦は不可能だと感じた。

しかし、今回体験した市議会アドベンチャーで、「声をあげれば何か変わるかもしれない」と、少し希望を持つことができた。

今回の市議会アドベンチャーで、「意見や考えがあれば言っていんだ」と思った。きちんと根拠を持って発言すれば、小学生の意見でも聞いてくださる大人の方々がいることに気づき、とてもうれしくなった。

議会アドベンチャーを終えて

僕は市議会アドベンチャーを体験して、市議会で行われていることをいろいろと学ぶことができました。今回、クラスのみならず自分たちの町の課題を出し合い、今よりもより良い生活にしたいという願いを込め、「切串に公共交通機関を通すこと」を提案することにしました。議長さんから名前を呼ばれて意見発表をするとき、とても緊張しました。発表を聞いている人がどう思うのか不安な気持ちにもなりましたが、僕たちが一生懸命考えて発表した意見に、市の方々から回答をさせていただきました。僕たちの意見に対して、なぜできないのかを納得できるように、丁寧に教えてくださいました。

今年はリモートでの参加となり、実際の議場には行けなかったのがとても残念でしたが、議会事務局の方や市役所の方々の前で堂々と発表ができたし、バスを通すために自分たちに何ができるのかということが分かりました。

みんなが江田島市をより良くしようとしていることを知ることができました。

この体験をもとに、これからもっと政治に関心をもって生活していきたいと思えます。そして僕も、6年後に選挙権が与えられるので、自分も政治に参加して、自分達が住んでいるこの江田島市の未来をより良くしていくために何ができるかを考えていきたいです。



切串小学校
まつもと 朋也さん

市議会アドベンチャーを終えて

江田島市議会アドベンチャーでの体験は、江田島市に住んでいる私たちの暮らしについて考えるよい機会になりました。「近くで買い物ができなくなって、お年寄りが困っているのではないかな。」「みんなで遊ぶ公園があったらいいな。」「たくさんの人に江田島に来てもらって、江田島市が元気になればいいな。」など、学級で話し合うといろいろな思いや願いがでてきました。そして、どうすればもっと暮らしやすい江田島市になるのか考えました。



三高小学校
みやもと はな 宮本 華さん

江田島市議会アドベンチャーでは、他校の意見発表を聞くことができました。三高小学校の意見発表とは違う意見ですが、自分のことだけでなく、周りの人のことも考えて提案していると思いました。

人によって、思いや願い、考えに違いがあります。それをどのように実現させていくのか考えて決めていくところが市議会です。私たちの意見発表に対して市の考えを伺うことができました。

このようにして、江田島市に住んでいる私たちの暮らしがよくなるように、議会と話し合われていることが分かりました。

市議会アドベンチャーを終えて

市議会アドベンチャーに参加しました。私は意見発表者だったので、とても緊張しました。今回、私たち江田島小学校6年生が提案したことは、「えたじまん館」の建設です。私たちは、総合的な学習の時間で、地域の宝と言える場所や建物、お店などについて調べました。その中で、地域とのつながりを大切にしていたり、それぞれの仕事で目標に向かって努力、工夫をしている素晴らしい方々がいらっしゃることを実感しました。だからこそ、江田島の素晴らしい「もの」だけでなく、素晴らしい「人」を紹介する施設、「えたじまん館」があればいいなと考えたのです。当日は、私たちの提案を真剣に聞いてくださったのでうれしかったです。しかし、費用や管理する人のことを考えると建設については難しいとのことでした。「これが欲しい。」「あれがしたい。」といった気持ちだけでは、実現できないことが分かりました。また、提案をするなら、そのような細かいところまで考えなければならぬことも学びました。今回、私たちの提案は採用されませんでした。江田島をより良くしていきたいという気持ちは伝わったので良かったです。



江田島小学校
ふくい ひなた 福井 日葵さん

これからも江田島のために自分たちにできることは何かを考えながら生活をしていきたいと思えます。

議会アドベンチャーに参加して

先月、議会アドベンチャーに参加しました。大古小学校は、江田島市の活性化に向けたオーリーブ振興について意見発表をしました。緊張したけれど、多くのことを学びました。



大古小学校
たにおか ひろあき 谷岡 鵬晶さん

一番驚いたことは、自分たちがよいと思う意見でも簡単には通らないということです。例えば、僕たちが提案した「市がオーリーブを植えるための土地を市民に貸し出すのはどうか」という意見には、「人の土地を勝手に貸し出すのは法律上難しい」、「苗の育成所を作るのはどうか」という意見にも、「費用や働く人が必要だから難しい」と言われました。それを聞いて、法律とか、その意見が通った後のことも考えて議論しなければいけないのだなと思いました。市の方は、僕たちの提案を最後まで真剣に聞き、取り上げるかどうか本気で考えて答えてくれました。それを見たら、自分たちもしっかり発表しないとイケないと思いました。

僕は今まで、市議会なんて簡単に意見が通って、すぐに実行されるのだと思っていました。今回、議会アドベンチャーを体験して、議会が意見を通すのは難しいこと、でも、市議会は僕たちが自分の意見を言える場でもあるということに気づきました。僕が18歳になって選挙権を持ったなら、江田島市のために役に立つような人を選挙で選びたいです。

市議会アドベンチャーを終えて

中町小学校では、津島織物を中町だけでなくもっとたくさんの人に広めたいという気持ちをもって提案しました。提案を受けて、教えていただいたことは、津島織物製造株式会社で作られた紙布（しふ）が、江田島荘の一番大きな壁と客室に使われていることや、お土産として、紙布で作られた製品がそこで売られていること等です。私たちも2年生の時に工場へ実際に見学に行ったり、今年も2年生と4年生が学習したことを私たちに発表してくれたので、紙布のことをよく知っているつもりでしたが、さらに詳しく知ることができました。

切串小学校の発表を聞く中で、切串の方では路線バスが通っていない地域もあり、車を持っていない人や車を運転できない高齢者等は、予約が必要なおれんじ号かタクシーでしか移動することができないことを知りました。路線バスを通すことを住民が望んでいるけれど、市の人口が減っていることや利用するお客さんが少ないことから、実現化は難しいことも分かりました。

私は、今日の学習を通して、これから私たちは、もっと公共交通機関を利用したり、江田島の良さをもっと学び、広めていったりしたいと思いました。

市議会議員の方々が、話し合いながら、江田島市を住みよい町にしていることが分かったので、議会だよりを読んでみようと思いました。また、18歳になったら、必ず選挙に行こうと思います。



中町小学校
ますい めいあき 舛井 明咲さん

教えて！ 議会のこと

市議会ってどんなことをしているの？
わがまちのマスコットキャラクターたちから投げ掛けられる質問に議会広報特別委員会がお答えします！

今号の質問者



江田島市商工会キャラクター
えたぼう
江田島で育った夏カキ「ひとつぶくん」の妖精



えたぼう

どうして令和4年度の一般会計当初予算は対前年度比で大きく増えているの？

大柿町のまちづくりの拠点となる大柿市民センターの建設費や、飛渡瀬地区と切串地区の「交流プラザ」の工事費など、公共施設の再編整備の事業が予定されているからだよ。



委員



えたぼう

どうして公共工事を今どしどしとしているの？

令和6年度末までは国から手厚い支援をしてもらえるからだよ。



委員



えたぼう

議員の皆さんは、議会に提出された予算案をどういうふうに審査しているの？

毎年2月定例会に提案される新年度当初予算案は、規模も非常に大きくて多岐にわたるから、議会側は予算審査特別委員会を設置して、さまざまな観点から疑問点をただしたりしてチェックしているよ。
たとえば、重点事業に注力しつつもバランスの取れた予算になっているか、最少の経費で最大の効果を引き出すものになっているか、議会での決算審査時の指摘事項を踏まえた予算編成になっているか等に着目して審査しているんだ（2～5ページをみてね）。



委員

編集後記

令和4年度となり、はや1カ月、目に青葉がしみる頃となりました。

さて、今号の中心は、行政側が議会に提案した「令和4年度当初予算案」の審議状況に関する報告にあります。補正予算案は必要に応じてその都度、議会側に提案されますが、総額250億円超の規模となる、新年度一般会計・特別会計・企業会計予算案が提案されるのは、この2月定例会のみであり、その審議模様を報告するのが毎年5月に発行する「議会だより」です。

市民の皆さまにこれまで以上に手にとって読んでいただけるよう、紙面構成を大きく変えました。ご一読いただければ幸いです。

上本 雄一郎

議会広報特別委員会

委員長 長坂 実子
副委員長 上本 雄一郎
委員 岡野 数正
委員 美濃 英俊
委員 平本 美幸
委員 宮下 成美